日刊スポーツ

掲載日：2021年2月16日

独自手法で地方➡全国のムーブメント巻き起こす仕掛け人〝歴史的大転換期のPR戦略を聞く

TMオフィス 殿村美樹社長

情を突くPR

滋賀県彦根市の「ひこにゃん」、京都・清水寺での「今年の漢字」、香川県の「うどん県」―PR会社「TMオフィス」（大阪市中央区）の殿村美樹社長（59）は、独自の手法で地方から全国へのムーブメントを巻き起こしてきた仕掛け人だ。大阪を拠点に地方の魅力や文化、中小企業の情報発信をサポートして32年。新型コロナウイルスによる社会と経済の歴史的大転換期を迎える中、新時代のPR戦略を聞いた。

新時代の先駆者たち

笑顔で大阪の街を指さす殿村美樹氏

地方のPRについて語る殿村美樹氏（撮影・白石智彦）

イソップ童話の「北風と太陽」に例えると…
王道の手法は人を従わせようとする「北風」
私たちの手法は周囲を味方に変える「太陽」

◆殿村美樹（とのむら・みき）ブランド戦略、教員、関西大学社会学部（広報講師）。1961年（昭36）2月26日、京都府宇治市生まれ。小学5年のとき、両親が別離し、画家の父のもとで育った。大学卒業後、大手広告会社に入社。その後、傘下のPR業務を行う関連会社に転籍。TMオフィス代表取締役、同志社大学大学院ビジネス研究科（地域専門の個人事務所として創業。92年1月、TMオフィスを設立。93年に手掛けた「佐世保バーガー」を皮切りに、全国各地の中小企業や地方自治体を中心に1000件以上のPR案件を手掛ける。殿村美樹社長が選ぶ「今年の漢字」は2004年（平16）から18年まで15年連続で当たり、「清水寺の貫主に揮毫（きごう）してもらう」という演出も定着した。19年1月には「佐世保バーガー」を超える全国区に押し上げた「現在は、